



【霧の中の沐浴】アラハバード インド/2007

聖地巡礼

野町和嘉写真展

N O M A C H I ' S S A C R E D L A N D S
G A N G A / A F R I C A / A P O C A L Y P T I C E T H I O P I A / I S L A M / A N D E S

特別協賛

Canon キヤノン株式会社 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

主催 日本経済新聞社

共催 東京都写真美術館

協力 富士フイルム株式会社/コニカミノルタプラザ

企画 クレヴィス

2009

3月28日|土|—5月17日|日|

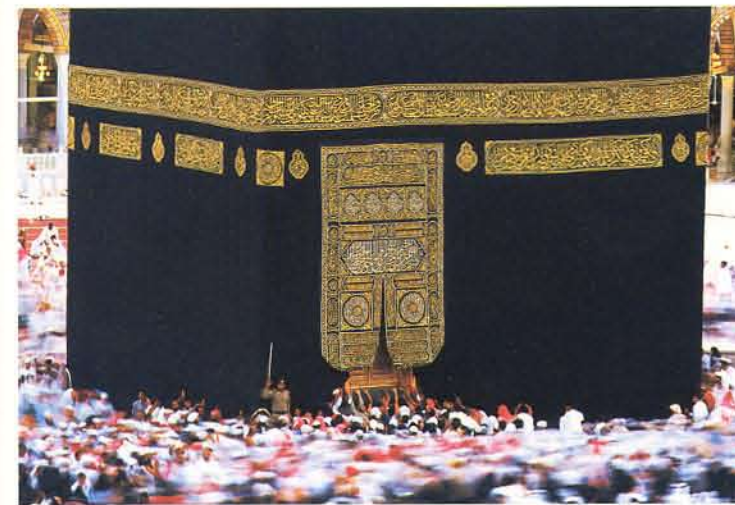
●開館時間=10:00→18:00(木・金は10:00→20:00、入館は開館の30分前までに)

●休館日=毎週月曜日(但し5月4日(祝・月)は開館します。)

●観覧料=一般800(640)円 学生700(560)円 中高生・65歳以上600(480)円
()内は20名以上の団体料金。小学生以下、お体に障害をお持ちの方とその介護者は無料



東京都写真美術館
地下1階展示室 www.syabi.com



【カアバ拝殿】メッカ サウジアラビア/1996



【家路を歩く少年】カルザス アルジェリア/1972



【マリヤム・シオン教会、朝の祈り】アクスム エチオピア/1997



【仮面を付けたウクク(熊)と呼ばれる男たち】コイユリーテ ベルー/2004

野町和嘉は20代半ばでサハラ砂漠を訪れ、大地のスケールと、過酷な風土を生きる人々の強靭さに魅せられたことがきっかけとなり、今日までドキュメンタリー写真を撮り続けてきました。35年余に及んだ取材地域は、ナイル川全流域からエチオピア、チベット、南米アンデスまでをカバーし、地球規模のスケールで「大地と祈り」を撮り続けてきました。

そして1995年から2000年にかけて、サウジアラビアからの要請により、イスラーム教最大の聖地であるメッカとその巡礼を、世界で初めて徹底取材してきました。これまでの取材の成果は、写真集「サハラ」、「ナイル」、「チベット」、「メッカ巡礼」として世界各国で出版され、とくに欧米では版を重ねてきました。2005年には、野町が30年以上にわたって撮り続けてきた「祈り」を集大成した「A PHOTOGRAPHER'S PILGRIMAGE」(日本版「地球巡礼」新潮社)が、9カ国語版で世界同時刊行されました。

本展は最新作である、祈りの川「ガンガー(ガンジス)」を中心に、代表作である「アフリカ」、「イスラーム」、「エチオピア黙示録」、「アンデス」を加えた約150点により構成するものです。

◎野町氏によるギャラリートーク ■野町和嘉氏による作品解説を行います。観覧券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。
■トーク終了後にサイン会を行います。(対象=当日会場にて本展図録・写真集をお買い上げのお客様)

【日時】 3月28日(土) 4月11日(土) 5月2日(土) 5日(火)
3月29日(日) 4月25日(土) 5月3日(日) 16日(土)
4月29日(水) 4月17日(日)

全日 14:00~15:00

東京都写真美術館
地下1階展示室 www.syabi.com



〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

TEL:03-3280-0099

■JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分

■当館には専用の駐車場はございません。

お車でご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください

野町和嘉 略歴
Nomachi Kazuyoshi

1946年 高知県に生まれる

1965年 高知県立高知工業高校卒業

1968年 写真家・杵島隆氏に師事

1971年 フリーの写真家となる

1972年 サハラ砂漠に旅したことがきっかけ

となり、ナイル、エチオピア、グ

レート・リフト・ヴァレーといったアフ

リカの乾燥地帯の取材を続ける。



インド、アラハバードにて 撮影：横並悦子

1980年代後半より舞台を中近東、アジアに移し、中国、チベット、サウジアラビア等での長期取材を経て、2002年以降アンデス、インドに取り組んでいる。
土門拳賞(1984年)、芸術選奨文部大臣新人賞、日本写真協会年度賞(1990年)、講談社出版文化賞(1997年)、大同生命地域文化研究特別賞(2002年)ほかを受賞。

www.nomachi.com

作品保存の環境を整えるため生花等は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

野町和嘉写真展
NOMACHI'S SACRED LANDS
聖地巡礼